

夏休みの宿題 クリア!!



元教員のサポートで宿題に取り組み子どもたち―蒲郡市神明町の市生きがいセンターで

退職した教員らが、小学生の夏休みの宿題をサポートする「シルバー寺子屋夏休み教室」が、蒲郡市神明町の市生きがいセンターで開かれている。教員免許を持つ人材を活用して子どもの学習意欲の向上につなげようと、蒲郡市シルバー人材センターが初めて企画した。東三河では珍しい取り組み。(木下大賢)

「かきかっこの会話を上 夫して」。作文を書くこつ手に使おう。書き出しを音 を説明する元教員に児童らや様子、会話にするなど工 が聞き入った。

蒲郡 教員OBらが小学生をサポート

蒲郡市内の多くの小学校で作文や絵画ボスターの制作が宿題となっている。親が働いているなどの事情で、代わりのサポート役を必要とする家庭は少なくない。

一部屋につき十人の児童が作文や算数のドリルなどを広げ、六十、七十代の元教員五人が横に付いて助言したり励ましたりする。三谷小学校四年の水藤蒼侑君は「分らない時に教えてくれるので助かる」と笑顔を見せた。

シルバー会員で元小学校教諭の近藤邦雄さん(六五)＝蒲郡市緑町＝は「子どもは『一人でやんなさい』と言われると、ちょっとしたことでつまずき、そこで止まってしまつ。助けを得てクリアしていくとやれる」と話す。

さまざまな経歴を持つシルバー会員の中には教職経験者もいることから、「会員の活躍の場を提供するとともに、子どもの学習をサポートする受け皿を増やそう」と企画。「読書感想文」と「夏休み宿題」の両コースがあり、八月上旬の二巡目もすでに定員に達している。

「自」

和公園などでトレーニング

クに出場します」と力強く